

2025年度 新人看護職員成長レポート：下半期編

10月

入職半年を迎えた新人看護師は、日々の業務の流れを理解し、自分で優先順位を立てながら働けるようになってきました。患者家族との関わりも自然になり、表情や言葉から患者家族の状態や想いを読み取る力が育っています。迷いや葛藤を抱えながらも、一つひとつの経験を糧に確実に成長している姿が見られます。



11月

理学療法士・作業療法士を講師に迎えてフォローアップ研修を実施しました。「ポジショニング」「身体の触れ方・動かし方」「理学療法」の3ブースに分かれ、グループごとに実技演習を行いました。ポジショニングのブースでは、ベッドの高さを自ら調整し、子どもが安楽な体位をとれるよう工夫する姿が見られ、状況を判断して主体的に行動し、今後の看護実践に活かせる学びとなりました。



12月 看護実技の演習を行いました。

母性棟・手術室勤務者は、小児病棟で呼吸器装着患者ケアの見学（吸引、食事介助、経管栄養、保清など）や、看護実践を経験することで、子どもの状態変化を捉える視点を養いました。

小児棟勤務者は、採血・皮下注射・筋肉注射などの技術を、模擬モデルを用いて反復練習し、安全な手技の習得に向けて積極的に取り組みました。採血実習では“患者役”を体験することで、不安や緊張といった患者心理への理解が深まりました。これらの経験を通して、看護師として患者さんの気持ちに寄り添う姿勢が育まれていると感じました。



1月 災害研修を行いました。

講義だけでなく防災ヘルメットを着用することで、安全確保の重要性を再確認する機会となりました。



2月

新人看護職員フォローアップ研修の最終回は4月から始まった全12回の研修の締めくくりとして、『症例検討発表会』に取り組みました。受講生からは「症例をまとめることで振り返りが深まり、考える力がついた」「他者の発表を聞くことで視野が広がった」との声が聞かれ、互いの学びが刺激となり、確かな成長が感じられる研修となりました。



研修後には修了式を行い、看護部長から修了書が授与されました。“基礎を大切にしてほしい”という言葉に胸に、2年目に向けてさらに成長していくことを期待しています。2年目も頑張るよ!